



かわら版

広報

国土交通省

「石川のみちづくり～国土交通金沢～」

vol.40

(1/2)

平成27年10月14日

●情報伝達訓練（地震・津波想定）を実施しました！

9月3日（木）、大規模な地震発生時の状況を想定した情報伝達訓練を実施しました。

本取組みは、大規模地震発生時に①迅速かつ的確な初動体制の確立、②被災情報の収集・伝達、③適切な応急対策の検討、④効果的な広報活動など、円滑な災害対策活動が出来るよう、北陸地方整備局内の各事務所が一斉に実施する訓練です。

この日の訓練は、新潟県北部沖を震源地とするマグニチュード8.0の地震が発生し、石川県内で震度4～5弱の揺れが観測されたという想定で行われ、金沢河川国道事務所と陸上自衛隊金沢駐屯地の会議室を無線LAN回線で結び、テレビ会議や管内のカメラ映像で道路状況を共有する実働訓練も実施しました。



【道路情報管理室 訓練実施状況】



【無線回線伝送訓練】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0902_1.pdf

●日本風景街道「金沢城下野町・弥生誘い街道」六斗広見街道まつりを開催しました！

9月27日（日）、「六斗広見街道まつり」が金沢市野町3丁目（日本風景街道「金沢城下野町・弥生誘い街道」）で開催されました。このまつりは平成17年より行われており、かつて多くの人々や物資が往来して賑わいを見せてきた旧鶴来街道筋の「六斗広見」（広見とは、藩政時代に多く設けられたもので、街路の一部が広くなっている部分を指し、六斗広見は市内でも最大規模の広見です。）にて、安全で快適に歩けるまちづくりを推進するとともに、地域の魅力をアピールすることを目的として行われています。

今年のまつりは、統合された泉小学校の3・4年生によるよさこいソーラン踊りで幕を開け、小中一貫教育を目指す泉中学校の吹奏楽部による演奏がまつりに華を添えました。



【泉小学校の児童によるよさこい踊り】



【泉中学校吹奏楽部の演奏】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0925_1.pdf

関連URL：北陸の風景街道 <http://www.hrr.mlit.go.jp/road/hokuriku-fukeikaidou/index.html>



「石川のみちづくり～国土交通金沢～」

●「第27回金沢河川国道事務所建設労働災害防止大会」を開催しました！

～工事現場での無事故・無災害をめざして～

9月30日（水）、石川県地場産業振興センター 新館コンベンションホールにて、金沢河川国道事務所工事安全対策協議会主催の「第27回金沢河川国道事務所建設労働災害防止大会」を開催しました。

北陸地方整備局では、安全衛生管理体制の整備及び労働災害防止対策の具体的活動の定着を図り、建設現場での安全確保を目的に、各種の取り組みを行っています。

金沢河川国道事務所においても、「建設労働災害の撲滅と安全意識の高揚」を図る取り組みの一環として、建設現場での無事故・無災害を目指し、「建設労働災害防止大会」を開催し、建設業者ら関係者の意思の統一及び安全意思の高揚を図っています。

本大会では、当協議会の金澤文彦会長（金沢河川国道事務所長）による安全管理の徹底要請に引き続き、石川労働局 労働基準部健康安全課長の西坂正彦氏による講演「足場の歴史と法規則」のほか、工事安全対策協議会の活動報告、安全管理優良受注者表彰、受賞者披露、安全宣言採択等が行われました。

大会に出席した建設業者ら約220人は、労働災害撲滅に向け現場における安全対策徹底などを再認識しました。



【安全宣言】



【建設労働災害防止大会の状況】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0929_1.pdf

●「メンテナンス講習会および橋梁実地点検研修」を開催しました！

10月1日（木）、石川県道路メンテナンス会議の講習会および橋梁実地点検研修が開催されました。本取組みは、自治体職員の橋梁点検・診断に関する技術力の向上を目的とした研修です。

参加者は橋梁やトンネル点検のポイントを学びました。

午前中の講習会は石川県庁舎にて行われ、県内の地方公共団体職員約60人が出席し、宮里心一金沢工業大学教授による「道路橋における塩害の点検・評価と対策」、木村定雄金沢工業大学教授による「法的視点からみた維持管理」、森山守ネクスコ中日本福井保全・サービスセンター副所長による「道路トンネルの維持管理」について聴講しました。

午後からは犀川に架かる新御影橋（金沢市長土堀3丁目）に移動し、目視や打音検査の留意点や、点検記録から橋梁の損傷区分の評価をする実地点検を行い、技術力向上に努めました。

参加者からは、「塩害劣化が進行するメカニズムを良く理解できました。また、その地域の環境に適した保全を行っていくことが重要であると感じました。」などの感想が聞かれました。



【講習会の状況】



【橋梁実地点検研修】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h27/p0929_2.pdf

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 杉 浩行

電話 076-264-8800（代表） FAX 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

金沢河川国道事務所モバイルサイト（携帯サイト）

URL : <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

URL : <http://roadinfo.kanazawa-mlit.com/k/>